

# 眼科

# 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター



病院長名	直江 知樹
所在地	〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸4-1-1
交通案内	名古屋市地下鉄名城線「市役所」下車徒歩1分

## 病院の特徴

当院は開設以来140余年の歴史を有し、前身は国立名古屋病院として国民のための医療を提供しつづけております。年間救急搬送台数7500台を超える第3次救急指定病院、都会型総合病院です。また、当院は、わが国では数少ない臨床研究中核病院に選定されています。病床数は740床(精神科病棟50床含)です。

近隣は名城公園・名古屋城があり、街の中心に位置するにも関わらず喧騒からは離れた恵まれた環境にあります。

## 研修プログラムの特徴

### 【研修プログラム名】

名古屋医療センター眼科専門研修プログラム

### 【研修目標】

眼科学に精通し、専門性の高い治療に対応できる技術を身につけ、学会発表や論文作成を通じて科学的に思考し、将来的に地域でも活躍できる眼科医を目指します。

### 【研修期間】

4年

### 【研修スケジュール】

4年間で1年目か2年目を基幹施設で研修します。名古屋医療センターでは、眼科の希少疾患やがんを含めた難病を経験しながら、白内障等の内眼疾患の手術手技の基本を習得します。

2年目以降は名古屋医療センター、名古屋大学、もしくは名古屋第一赤十字病院で研修します。

当院では硝子体手術などの内眼手術、涙道、外眼部・眼窩疾患の手術療法を学びます。名古屋大学では臨床と同時に研究に従事する機会が得られます。名古屋第一赤十字病院では小児眼科とともに一般眼科の疾患を経験することができます。できるだけ専攻医の希望に沿ったプログラムを構築しますが、どの研修施設を選んでも最終的に研修到達目標に達することができるようにします。また、専攻医間で格差がつかないように工夫も考慮します。

眼科専門研修を行っているいずれの時期でも、研修中の病院が行政によって担当が定められている災害救護や救急医療には、眼科医として積極的に参加して経験を積みみます。



▲眼科手術室

## 主な連携施設

名古屋大学医学部附属病院

名古屋第一赤十字病院

## メッセージ

指導医

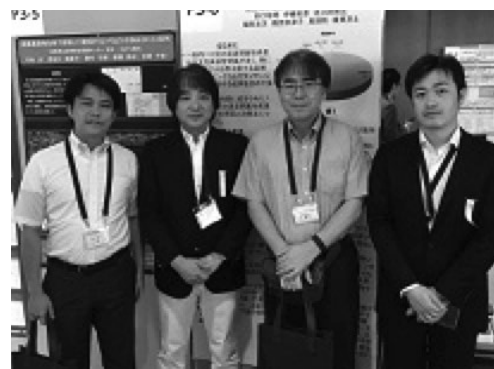
眼科医長 廣瀬 浩士



眼科専門医8名のもと、内眼疾患、外眼疾患の幅広い分野に対応しております。

特に涙道、眼形成疾患、眼・眼窩腫瘍等に対する治療では、県内屈指の施設であり、手術件数も上位にランクされています。白内障手術も多く、さまざまな網膜硝子体疾患に対しても可能な限り、先端機器、先端治療を導入し、最良の方法が見つかるよう努力しております。

女性医師も多く、また、時折、海外からの留学医師も交え、国際交流をはかりながら、なごやかに、また、楽しく仕事ができるよう努力しています。



▲学会発表

## 募集要項

採用予定人数	2人	
給与／月額	394,000円(基本給)	
当直回数／月	2回	
当直料／回	20,000円	
その他	年収 680万円～1,000万円	
応募連絡先	担当者	市坪 徳郎
	電話番号	052-951-1111
	Eメール	tokuroi@nnh.hosp.go.jp

# 名古屋大学医学部附属病院



病院長名	石黒 直樹
所在地	〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65番地
交通案内	JR中央線「鶴舞駅(名大病院口)」下車 徒歩3分 名古屋営地下鉄「鶴舞駅」下車 徒歩8分

## 病院の特徴

名古屋大学では従来より、卒前から卒後に至る一貫した臨床医学教育を実現するために、『総合医学教育センター』を設置していたが、2008年度からは、初期研修後の専門医育成も支援するために、『卒後臨床研修・キャリア形成支援センター』としてさらに機能充実を図り、研修サポート体制の拡充を行った。これにより、名大研修の特徴である関連病院と密接に連携した質の高い臨床教育をより円滑に推進できるようになった。すなわち、2年間の初期研修のみならず、後期・専門研修のキャリアパス整備とキャリア形成の積極的支援など、後期研修や専門研修においても、病院として責任を持った体制を確立した。各種教育ツールを一括管理してシミュレーションによるトレーニングを進めるとともに、OJT(On the Job Training)を重視して臨床手技の習得が速やかに行われるように力を注いでいる。

## 研修プログラムの特徴

### 【研修プログラム名】

名古屋大学眼科研修プログラム

### 【研修目標】

眼科医として幅広い知識と高度な医療技術を身につけ、自立した眼科医として国民医療に貢献する。

### 【研修期間】

4年

### 【研修スケジュール】

1年目は基本的には名古屋大学病院で研修を行います。定期的に教官による系統講義を受けて、知識をつけていただくと同時に、救急疾患、希少症例、難病などの豊富な症例を経験していただきます。また、大学のアカデミックな側面に触れていただくために、指導医が地方会などの発表の指導もいたします。大学病院は、内眼手術件数、指導医数も多いのではじめに診察技術、手術手技の基本を習得していただきます。特に、全国に2台しかない眼科用シミュレーターを有しており、白内障、硝子体手術手技を実践に近い形で学ぶことができ手技の向上に役立っております。2年目以降は連携施設、もしくは名古屋大学病院にて白内障手術などを指導医のもとに行い、4年間の研修期間に難症例も含め白内障は一人で行えるようになっていただきます。このプログラムには、多くの連携施設が含まれており、高度な手術を経験することや、こども病院などの特殊な専門領域を選ぶこともできます。大学院に入学を希望する場合は名古屋大学病院を中心に臨床もしくは基礎研究を行い、プログラムをこなします。専攻医の希望にできるだけ沿ったプログラムを構築する予定ですが、専攻医全員が到達目標に達することができるように研修施設を調整します。

## 主な連携施設

あいち小児保健医療総合センター、安城更生病院、刈谷豊田総合病院、江南厚生病院、豊橋市民病院、公立西知多総合病院、公立陶生病院、西尾市民病院、市立四日市病院、一宮市立市民病院、稲沢市民病院、名古屋掖済会病院、岡崎市民病院、春日井市民病院、海南病院、津島市民病院、小牧市民病院、静岡済生会総合病院、名古屋セントラル病院、岐阜県立多治見病院、久美愛厚生病院、名古屋第一赤十字病院、名古屋記念病院、中部労災病院、東海中央病院、トヨタ記念病院、半田市立半田病院、名鉄病院、南生協病院、碧南市民病院、聖霊病院

## メッセージ

教授 寺崎 浩子



名古屋大学医学部眼科学教室は、明治15年に始まって以来、約130年の長い歴史があり、多くの優秀な眼科医を輩出しております。私のモットーは「明るく楽しくアカデミックに」です。ぜひ多くの皆様がこのプログラムに参加して一流の眼科医になっていただくことを願っております。



▲手術の現場



▲系統講義

## 募集要項

採用予定人数	10人	
給与/月額	月額約20万円に加え、該当する場合に手当(通勤手当、超過勤務手当、夜勤手当、特殊勤務手当(夜間診療業務手当等))を支給	
当直回数/月	約2回/月	
当直料/回	20,000円/回	
その他	平日日勤帯の外勤等(週1日まで)可	
応募連絡先	担当者	井口 優子
	電話番号	052-744-2275
	Eメール	yuko-i@med.nagoya-u.ac.jp

# 名古屋市立大学病院



病院長名	小椋 祐一郎
所在地	〒467-8602 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
交通案内	地下鉄：桜山駅下車3番出口 直結 市バス：「市立大学病院」または「市立大学病院」下車

## 病院の特徴

当院は808床の病床、30の診療科を有し、地域の中核医療機関として日々安全で開かれた医療を提供しています。

外来診療棟、病棟・中央診療棟に続き、近年増加するがん患者さんに対し、高度な診断や先端治療を併用する集学的な治療が行えるように、平成24年には喜谷記念がん治療センター（東棟）を開院しました。がん診療拠点病院や救命救急センターの指定・認定を受けると共に、高度急性期病院・特定機能病院としての役割を果たすよう努めると共に、教育研究機関として優れた医療人の育成に努めています。

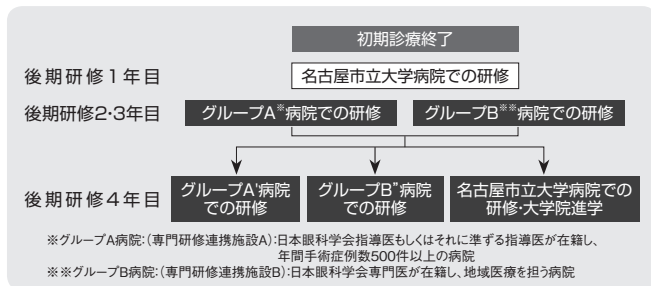
## 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

名古屋市立大学眼科専門研修プログラム

3年目（後期研修1年目）に大学病院\*で眼科診療における必要な検査・診察法を学びます。一般病院では稀な症例を多く経験し、手術の助手にもはいるります。4年目以降は日本眼科学会専門医制度研修施設で外来診療を行うとともに、白内障手術をはじめ様々な手術を段階的に執刀していきます。またさらなる手術の研鑽、研究、海外留学など、様々な希望に応じたキャリアプランを用意しています。眼科医として社会人として優れた人材育成を目標に、指導医が一丸となって情熱を持って指導にあたります。

### <研修モデル>



詳細は名古屋市立大学病院総合研修センターHPを参照

[http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist\\_prg/dept.html](http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist_prg/dept.html)



## 主な連携施設

名古屋市立西部医療センター	知多厚生病院
名古屋市立東部医療センター	多治見市民病院
豊田厚生病院	総合上飯田第一病院
大同病院	島田市民病院
木沢記念病院	泰玄会病院
菟野厚生病院	白川病院
稲沢厚生病院	十全記念病院
蒲郡市民病院	城西病院
常滑市民病院	小林記念病院
大垣徳洲会病院	など全22施設

## メッセージ

Nothing happens unless first a dream.

眼科 部長 小椋 祐一郎



名市大眼科では網膜硝子体疾患を中心に視覚障害の原因となる疾患の治療、病態解明に力を入れています。網膜硝子体のマイクロサージェリーにおいては世界トップレベルの診療器械と医療技術で、低侵襲で安全な手術治療を提供しています。患者本位の洗練された診療、最先端の研究、眼科医育成をめざして、教員一同家族のような雰囲気の中、熱意をもって眼科医療に取り組んでいます。

## 募集要項

採用予定人数	数十人 ※全領域あわせた人数であり、領域別の詳細の人数は各プログラム責任者と相談の上決定	
給与／月額	228,000円～478,000円 (勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる)	
当直回数／月	4回程度(診療科により異なる)	
当直料／回	24,000円～34,000円	
その他	年間有給休暇20日間、通勤手当、協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり	
応募連絡先	担当者	医学・病院管理部教育研究課医療人育成係 専攻医募集担当
	電話番号	052-853-8545
	Eメール	s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp

※名古屋市立大学病院で勤務する場合

# 藤田保健衛生大学病院

平成30年1月 新棟オープン



病院長名 湯澤 由紀夫

所在地 〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

交通案内 名鉄線名古屋駅より(22分)前後駅下車、名鉄バス(15分)「大学病院」下車 / 桜通線名古屋駅より(35分)徳重駅下車、名古屋市営バス徳重13系統または名鉄バス(16分)「大学病院」下車 / 鶴舞線伏見駅より(21分)原駅下車、名古屋市営バス徳重13系統(33分)「大学病院」下車

## 病院の特徴

当院は名古屋市に隣接しており、道路を渡ると名古屋市という好立地にあります。多種多様な疾患に対応しており、DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」で当院のDPC件数が全国の大学病院の中で第1位となりました。(平成26・27年度)

眼科では網膜硝子体疾患、白内障、緑内障、角膜疾患等の幅広い範囲の臨床を行い、手術件数は年間3000件を超えています。このように当科は臨床に軸足を置いており、最先端の手術を患者様に提供すること、多くの術者や臨床家を育てることを目的としています。

## 研修プログラムの特徴

### 【研修プログラム名】

平成30年度 藤田保健衛生大学眼科専門研修プログラム

### 【研修目標】

眼科疾患は小児から高齢者まで幅広い年齢層が対象で、内科的治療だけでなく外科的治療も必要とし、幅広い医療技能の習得が求められています。藤田保健衛生大学眼科専門研修プログラムでは、以下の眼科医の育成を目指します。

1. 一般眼科学に精通し、専門性の高い眼科治療にも対応できる眼科医
2. 一般診療所の医師のみならず総合病院の眼科医としてやっていけるだけの必要かつ十分な技術を身につけ、将来地域で活躍できる眼科医
3. 診療技能のみならず、学会発表や論文作成を通じて科学的に思考できる眼科医

### 【研修期間】

3年

### 【研修スケジュール】

詳しくは公開されている平成30年度藤田保健衛生大学眼科専門研修プログラムをご覧ください。



▲オペ室風景

## 主な連携施設

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院、名古屋第二赤十字病院、名城病院、豊川市民病院、朝日大学歯学部附属村上記念病院、可児とうのう病院など

## メッセージ

指導医  
教授 堀口 正之



昭和48年に藤田保健衛生大学眼科学教室は開設され、名古屋大学馬嶋慶直助教授が主任教授として着任しています。その後馬嶋教授は白内障手術である超音波乳化吸引術の普及に尽力し、作家・曾野綾子さん、長寿で話題となったきんさん、ぎんさんの白内障手術を執刀したことで有名になりました。

平成10年には馬嶋教授は退任し、私、堀口正之が名古屋大学より着任しました。

私は網膜生理とともに広く眼内手術を行ってきました。特に硝子体手術は、10年以上手術件数が全国一位となり、またTBSの「Super Doctor」にも出演し、全国から患者様が受診されるようになりました。

「明日から臨床に役立ち、患者さまにすぐ還元できる研究」が私の研究ポリシーです。

私が行ってきた臨床研究は、染色手術の創始、硝子体手術用広角顕微鏡の開発、あたらしい麻酔法の開発であり、染色手術、広角顕微鏡は現在でも世界中で用いられています。

あたらしい麻酔法は痛みが少なく、本邦で徐々に広がっています。

これからも患者さまに最高の医療を提供し、眼科医療を発展させるため医局員一丸となって努力を続けていきます。

## 募集要項

採用予定人数	5人	
給与/月額	基本給:月額268,840円 別途、賞与、その他各種手当、その他支給あり	
当直回数/月	3~4回/月	
当直料/回	当直12,000円/回 オンコール手当7,000円/回	
その他		
応募連絡先	担当者	三宅 悠三
	電話番号	0562-93-2097
	Eメール	fhuganka@fujita-hu.ac.jp

眼科

# 愛知医科大学病院



病院長名	羽生田 正行
所在地	〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1
交通案内	地下鉄東山線藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約20分 東名高速名古屋ICから車で約15分

## 病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。充実した設備と最新の診療体制を整え、名古屋市東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。特定機能病院、高度救命救急センター、基幹災害医療センターなどに指定され、2017年5月1日付けでNPO法人卒後臨床研修評価機構の定める認定基準を達成していると施設として4年認定の更新がされました。

2014年5月に新病院が開院し、「元気ホスピタル～あなたを元気にする。私も元気になる」を病院のスローガンに、職員一丸となって日々精進しています。先進医療と最適な医療環境を提供し、患者さんが元気になって頂く事はもちろん、医療体制の分業化や本来業務」の特化を図る事で、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。

## 研修プログラムの特徴

### 【研修プログラム名】

愛知医科大学眼科専門研修プログラム

### 【研修目標】

大学病院で高度な先進的、専門的医療を学び、臨床経験豊富な連携施設で研修することで、眼科の基本的検査、診断技術、処置、手術を習得する。

### 【研修期間】

4年

### 【研修スケジュール】

- 1年目：眼科診療の基礎
- 2・3年目：手術・手技の修得、学術論文の作成
- 4年目：難症例の治療、手術



▲手術の現場

## 主な連携施設

大阪大学附属病院、旭労災病院、坂下病院、  
国立病院機構大阪医療センター、  
公立学校共済組合近畿中央病院

## メッセージ

指導医  
教授 瓶井 資弘



愛知医科大学眼科は日本最高水準の網膜硝子体疾患の治療施設を目指しております。サージカルに関しては、国際トップレベルの網膜硝子体手術を行っており、全国に先駆けて3Dシステムを使用した手術を行うなど先鋭的な治療を行っております。加齢黄斑変性を中心としたメディカル分野に関しては、日本有数の専門医師を中心に、ロービジョンの視覚リハビリテーションにも力を入れています。網膜疾患以外の眼科専門診療の習熟に関しては、角膜疾患、緑内障、ぶどう膜炎、神経眼科、斜視弱視、未熟児網膜症の日本で有数のエキスパートの医師を毎月定期的に招聘しており、各分野の疾患の基本的知識や考え方、最新知見を学ぶことができます。また、手術教育に力を入れており、1年目より白内障手術を執刀できるように指導しています。満足できる研修プログラムを組んで、次世代を担う眼科医と一緒に働くことを楽しみにしています。

## 募集要項

採用予定人数	5人
給与/月額	基本給167,200円 +地域手当+調整加算手当等 約56,000円
当直回数/月	1~2回
当直料/回	(救急外来)宿直手当 約32,000円 (病棟)宿直手当 20,000円
その他	通勤手当、住宅手当、扶養手当、賞与(年2回)、社会保険等(日本私立学校振興・共済事業団(健保・年金))、健康診断 ※診療科から外勤の斡旋があります。
応募連絡先	担当者 半田 恒明
	電話番号 0561-62-3311(内線22181)
	Eメール gankaamu@aichi-med-u.ac.jp